

国 語（2年生） 学習案内

◎中学校の国語科では、「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成すること」を目標としています。

◎そして中学2年生の国語では主に次のような教材を扱う予定です。場合によっては別の教材に替えることもあります。

【知識・技能】

- 言葉 ・敬語 ・話し言葉と書き言葉 ・類義語、対義語、多義語、同音語
- 文法 ・活用のない自立語 ・活用のある自立語 ・付属語のいろいろ
- 漢字 ・まちがえやすい漢字 ・漢字の成り立ち ・漢字の多義性 ・同音の漢字

【思考力・判断力・表現力等】

- ・虹の足 ・タオル ・日本の花火の楽しみ ・水の山 富士山 ・夢を跳ぶ ・紙の建築
- ・敦盛の最期ー平家物語ー ・随筆の味わいー枕草子・徒然草ー
- ・二千五百年前からのメッセージー孔子の言葉ー ・坊ちゃん ・短歌の味わい
- ・夏の葬列 ・ガイアの知性 ・学ぶ力 ・豚 ・走れメロス

評価の観点

この3つの観点を評価していきます



主体的に学習に取り組む態度

→どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送ろうとしているか

言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしているか。

・自己の課題の調整力 ・粘り強さ



知識・技能

→何を理解しているか、何ができているか

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしているか。

- ・言葉の特徴や使い方
- ・情報の扱い方
- ・我が国の言語文化

思考力・判断力・表現力等

→理解していること・できることをどう使っているか

論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしているか。

・話すこと、聞くこと ・書くこと ・読むこと

★評価の方法

国語科では、3つの観点を主に次のような方法で評価します。

○知識・技能

小テストや定期テスト等を通して、知識の習得や概念的な理解を調べたり、その知識や技能を用いる場面を設定し、習熟度を測ったりします。主に漢字や古典、文法、書写、情報の扱い方や読書等で評価します。

○思考力・判断力・表現力等

小テストや定期テスト、レポート、論述やグループでの話し合い、発表、作品の制作などを通し、思考力や判断力、表現力を評価します。主に記述された文章や発表等での話し方、聞き方、物語文や論説文の読解内容を評価します。

○主体的に学習に取り組む態度

小テストや定期テスト、ノートやプリント、ワーク等を通して、「知識・技能」を習得したり「思考力、判断力、表現力等」を身に付けたりするために、自分の学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自分の学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意欲面を評価します。また、粘り強く取り組んでいるかどうかも大切です。そのために、決められたことや板書を書き写すだけでなく、自分なりに考えたことや調べたことを書き加えられているかを確認します。さらに、提出物や課題を忘れずに取り組んでいるかどうかや、授業での様子を評価します。